

理財部会長報告

会議名 第2回理財部会（オープン部会）

日時 2024年7月5日(金) 10:30～12:00

場所 秋田商工会議所 7階ホール80

出席者 理財部会員11名、他部会員13名 計24名

懇談 テーマ 「2023年に行くべき52カ所」に選ばれた
盛岡市の取り組み

ゲスト 盛岡市交流推進部観光課
課長 藤谷 徹 氏

1. 事業開始の背景

「盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン」等に基づき、インバウンド需要の回復や通年観光による誘客促進を進めていた中、令和5年1月ニューヨークタイムズ紙で「2023年に行くべき52カ所」に選出された。これを契機に、国内外に積極的なプロモーション活動と受入態勢の整備を開始した。

2. 令和5年の取組み（補正予算6千万）

受入態勢の整備

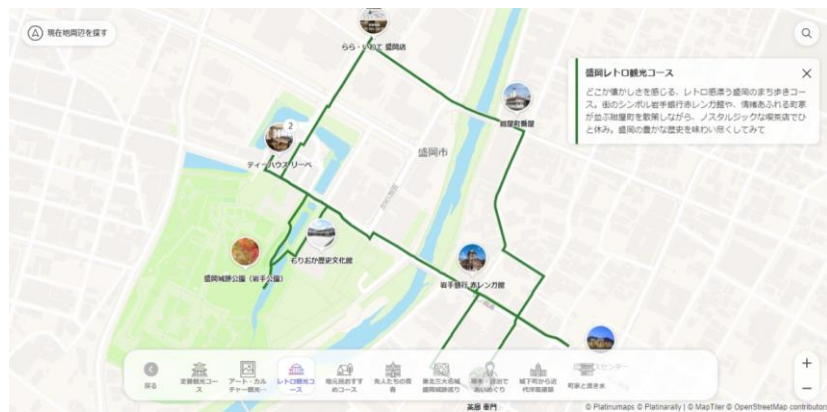
- 盛岡駅北口への臨時観光案内所設置
- デジタル観光マップ・11ヵ国語対応外国語マップ製作
- 祭り行事の体験・体感できる場の創出「街なかさんさ踊り」の開催
- プレミアムまちあるき事業「コーヒードリップ体験」の実施

誘客宣伝の展開

- JR東北・東海道新幹線車内誌、JAL国際線機内誌へのPR記事掲載
- ニューヨーク市「ジャパニベレッジ夏祭り」さんさ踊り・わんこそばPR
- タイ・バンコク「日本博2023」への出展

実施した事業の内容

○デジタル観光マップ



盛岡の魅力を楽しめるモデルコース紹介

○街なかさんさ踊り



8月の本祭り以外に街なかでさんさ踊りを披露

○ニューヨーク市「ジャパンビレッジ夏まつり」

盛岡さんさ踊り・わんこそばPR



優勝者へ盛岡市までの旅行券、ホテル代プレゼント

3. 令和6年度の取組み

- 祭りを活用したファンづくり（街なかさんさ踊りの継続）
- 新たなエリアへの積極的なプロモーションの実施（西日本）
- 重点ターゲット国の設定と戦略的なプロモーション（高付加価値旅行誘客）
- 外国人観光客が安心して観光できる受入れ体制整備（マップ充実）
- 第5期盛岡市観光推進計画の策定（ニューヨークタイムズ紙効果の維持・発展）
- 宿泊税の導入検討（魅力発信・観光施策の充実）

4. まとめ

盛岡市がニューヨーク・タイムズ紙に掲載された理由は

- ①首都圏からから2時間圏内
- ②美しい自然、伝統、食

この結果から地方の魅力は日常の暮らしの中にあることを再認識した。これからの観光は東北の時代になる。まだ知られていない地方の魅力を発信していくためには、各県の連携が必要不可欠である。ともに東北を盛り上げていただきたい。